

あさくらっこおめでとう



申込期間 2月生まれ(2月号)の申込は
1月8日(水)まで

申込条件 満1~3歳の子どもの対象。定員18人
(先着順)。申込多数の場合、満1歳の
子どもを優先して掲載します。

申込方法

①メール (jinji-kouhou@city.asakura.lg.jp)
写真データを添付し、子どもの氏名(ふりがな)・生年月日・住所・
連絡先(保護者氏名)を明記。送信後、**市人事秘書課**(☎22-1117
/平日8時30分~17時15分)へ電話してください。

②来庁
写真データを、市人事秘書課(本庁3階)または朝倉・杷木支所市
民窓口係(1階)へ(USBメモリ不可)。

あさくらこどもまつり 2024 開催! ~楽しい!が未来を育てる~
11月23日、朝倉青果市場で「あさくらこどもまつり2024」が開催されました。子どもたちが中心となり企
画・運営するこの祭りでは、子どもたちの成長した姿がたくさん見ることができました。来場者からは「1日い
て疲れどころか、元気になりました」との声も。子どもから大人までみんなで楽しめたお祭りとなりました。



あさくらきずなメール
妊娠・子育てのメッセージが
LINEで届く▶▶▶

子育ての
不安解消に

1月の催し

母子健康手帳交付
《市健康課》平日8時30分~17時
■持ってくるもの
妊娠届出書、マイナンバーと本人確認ができるものなど

子育て応援プログラム
※各教室とも、場所はピーポート甘木保健福祉センターです。
参加時には、母子健康手帳が必要です。

マタニティクラス(母親学級)
赤ちゃんの成長に必要な栄養について。調理実習あり。
■日時…14日(火)9時30分~12時
※10日(金)までに要予約
■持ってくるもの…筆記具、エプロン、マスク

もぐもぐ教室
離乳食を始める生後4~6カ月の乳児と保護者の皆さんへ。
■日時…23日(木)10時~12時
※第2子以降の人は16日(木)までに要予約
■持ってくるもの…筆記具、エプロン、マスク

すくすく(育児)相談
子どもの成長、母乳、離乳食、遊び、歯みがき、トイレなど、気
軽にご相談ください。身長・体重の計測も行っています。
■日時…15日(水)10時~11時30分
■持ってくるもの…バスタオル1枚
※母乳相談の受付は11時まで。別途フェイスタオル3枚持参。

にこにここども相談
ことばや行動、発達について、専門のスタッフが相談に応じます。
■期日…28日(火) ※要予約(時間は予約後に案内します)

乳幼児健診(対象者に個別で通知します)
【甘木・朝倉地域の人】

対象	日
4カ月児(令和6年8月生)	7日(火)
10カ月児(令和6年2月生)	8日(水)
1歳6カ月児(令和5年6月生)	9日(木)
3歳児(令和3年12月生)	10日(金)

■時間…12時45分~
■場所…ピーポート甘木 保健福祉センター
■持ってくるもの…母子健康手帳
■健診内容…身身体重測定、小児科医による診察、育児・栄養相談
《4カ月児》母乳相談 《4カ月児・1歳6カ月児》ブックスタート
《10カ月児・1歳6カ月児・3歳児》歯みがき相談
《1歳6カ月児・3歳児》心理相談、歯科健診
《3歳児》尿検査、視覚検査
問 申 市健康課(☎22-8571)

おはなし会
各図書館で、絵本の読み聞かせのほか、
わらべうたを一緒に歌ったり、みんなで手遊びをしたりします。

【中央図書館】
おはなし会(幼児~小学生向け)
■日時…毎週土・日曜日14時~
ぴよぴよおはなし会(0~2歳児向け)
■日時…8日・15日(水)11時30分~

【あさくら図書館】
みんなのおはなし会(幼児~小学生向け)
■日時…11日・18日・25日(土)11時~

【はき図書館】
わくわくおはなし会(乳幼児向け)
■日時…28日(火)11時~

つどおう 子育て広場

親子が気軽に集い交流したり、育児相談を行ったりしていま
す。詳しい内容や行事などはそれぞれの広場まで。

📍子育てほっとサロン「つどいの広場」
(堤1413)(☎080-6439-1851)

📍生い立つ地域子育て支援センター
(菩提寺606-1)(☎24-5203)

📍ひろにわ地域子育て支援センター
(入地2607-1)(☎080-8352-4178)

Pick Up

📍親子ふれあいヨガ
子どもとふれあいながらヨガの体操
を楽しみましょう♪ 親子ともに動きや
すい服装で、水分補給できるものをお
持ちください。

■日時…24日(金)10時30分~11時30分
■場所…つどいの広場
■講師…今朝石恵理さん(保育士、ベビーヨガ・マタニティヨガ
資格保有)

📍ぜんざい会
おもちの代わりに白玉団子とさつまいもを
入れて、お待ちしています。
■日時…10日(金)11時~14時
■場所…つどいの広場

シリーズ 人権

菊池恵楓園を訪問して

隣保館係では、毎年、人権に関するテーマを設け、約半年をかけて研究、パネルを作成し、12月に開催する「いのち・愛・人権」展で掲示しています。今年度のテーマは「ハンセン病問題」でした。学習を深めるため、ハンセン病療養所である熊本県の菊池恵楓園を訪問しました。ここは現在、全国に14カ所ある療養所の中で最も入所者数も多く、約130人が生活しています。

療養所には歴史資料館が併設され、ハンセン病に関するさまざまな資料が展示されており、無料で見学できます。その資料の中で特に印象に残ったものは、平成15年に起きたハンセン病元患者に対しての「宿泊拒否事件」です。

当時、大々的に報道されたため、覚えている人も多いかと思えます。その事件を受けて、元患者に対する多くの誹謗・中傷の手紙やがきが届きました。その中には「ホテルは謝っているのに文句を言うな」「人権より常識とデリカシー」「あまりいい気になるな」など、イラストとともに、見るに耐えない罵詈雑言が記されていました。

一方、「この件は、同じ人間のこととして、とてもはずかしい」と元患者をねぎらい、また励ます内容の手紙も多く届きました。

ハンセン病は戦後すぐに薬で治せるようになったにも関わらず、強制隔離政策は、平成8年の「らい予防法」廃止まで続きました。

元患者は、誤った政策で人権侵害を受けていたにも関わらず、偏見や差別を助長する人々や社会によってさらなる追い打ちを受けました。これは誤った情報、偏った意見に基づくいじめやネットへの差別書込み、ヘイトスピーチなどにも通ずることだと考えます。

私たちは、ハンセン病の歴史から正しく物事を理解し、二度と同じ過ちを繰り返すことなく、さまざまな偏見や差別を生み出さないように努めなければなりません。

※ハンセン病問題については、12月に配布した『令和7年人権啓発冊子カレンダー』ひらけ未来に(6月)『も』をご覧ください。

問 市人権・同和対策課(☎287861)

あなたの写真を掲載してみませんか?

自然や文化など「朝倉の魅力を再発見できる写真」を毎月掲載していきます。皆さんからの情報提供や写真の申込をお待ちしています。

掲載の候補となるのは次の写真です。

- ① Instagramで「#あさくらいふ」「#朝倉市」と付けて投稿された写真
 - ② メール(jinji-kouhou@city.asakura.lg.jp)で申込があった写真など
- ※メール申込の場合、氏名、連絡先、撮影場所・日時、写真に関するコメントを添えて申してください。
※掲載する場合、ご連絡します。



今月の1枚 #あさくらいふ

国内最大級の移住フェア「JOIN 移住・交流&地域おこしフェア 2024」

撮影日:令和6年12月7日 撮影場所:東京ビッグサイト

アサクラアンバサダーであり、「ビールおねえさん」こと古賀麻里沙さんとともに、朝倉市をアピールしました。移住相談の件数は、朝倉市の移住フェア出展としては過去最大の30件ほど。たくさんの皆さんにブースにお越しいただきました。



広報文芸

3月号は年間優秀作品を発表
昨年4月号以降の作品から、俳句と川柳それぞれ5句選ばれます。

俳句 (矢野俊一選)

資料館埴輪も欠伸小春かな 朝日さす薄氷光る通い道

比良松 足立 修三

杷木穂坂 飯田 松代

雑炊を吹きつつ孫は三杯目 飛機雲の三筋珍し秋の空

中原 矢野エイ子

宮野 赤尾 清

初生りの柿を数えて挽ぐ一個 秋落暉水面輝く筑後川

牛鶴 長野 京子

杷木林田 永野 公昭

川柳 (お題「葉」) (益永克之選)

温かい言葉は薬癒される 一日の疲れを癒す薬風呂

来春 伊藤 佳子

千手 山崎 弘子

薬ゆび指輪はないが半世紀 年ごとに葉が増える老いの道

菩提寺 北原 妙子

美奈宜の杜 宇都 信泰

百薬の長願いを込めて酌み交す 老いた顔葉見せ合うお湯の宿

堤 篠原 明男

杷木穂坂 飯田 美弘

【広報文芸公募方法】はがきまたは封書に三句以内(一人一通限り)と住所・氏名・電話番号(連絡の取れる番号)を記載し、1月8日(水)までに直接選者に応募。
応募作品は、未発表・自身の作品に限り、今一度、ご確認ください。

■川柳次の題:「声」

【応募先】《俳句》矢野俊一さん(〒838-0068 朝倉市甘木1-929-1-2) 野口春那さん(〒838-0061 朝倉市菩提寺523-2)

女王卑弥呼の徒然日記

観光大使としての朝倉

こんにちは。第42代女王卑弥呼の野口春那です。観光大使に就任し、たくさんの人と交流し、さまざまな経験をしました。朝倉の魅力に改めて気付かされる機会が多く、朝倉の良さを日々実感しながら過ごしています。福岡市内で開催された、8月の「KBCオーガスタ」、10月の「筑後川のめぐみフェスティバル」に参加し、水のふるさとである朝倉市の水を生かした特産品を来場者の皆さんにPRしました。普段は経験できないテレビ中継にも挑戦。ドキドキしながらも朝倉の魅力がたくさんの人に発信することができました。

11月に行われた「第4回あさくら祭り」では、ようやく市民の皆さんとも交流できました。お店の人や来場者から、たくさんの「頑張ってるね」との声援がともうれしく感じ、皆さんと触れ合うことで皆さんの元気をいただくことができました。女王卑弥呼就任から、あっという間に月日が流れています。今後も、朝倉の水や食べ物、歴史、母親だからこそ感じる子育てのしやすさなどさまざまな魅力を県内外へ発信し、私たちに貢献できるような最後まで頑張ります!



第42代女王卑弥呼 野口春那さん

卑弥呼の活動を紹介するコーナー「女王卑弥呼の徒然日記」。今後も不定期で掲載します。卑弥呼のそのほかの活動はあさくら観光協会のインスタグラムをチェック!



▲(上)「KBCオーガスタ」では猛暑の中、水のふるさと朝倉をPR。(下)「あさくら祭り」ではたくさんの人に声をかけていただきました。



年齢・性別・国籍、さまざまな垣根を越えて
eスポーツで深まる地域のつながり



11月30日、フレアス甘木でeスポーツ交流大会が行われました。これは、老若男女問わずeスポーツを活用し交流することで、地域コミュニティの活性化につなげる目的で開催され、230人が参加しました。

交流大会では小学生と60歳以上のシニアで3人1組のチームを結成。リアルなドライビングを楽しめる「グランツーリスモ7」をプレイし、レース対決を行い、子どもから大人まで大盛り上がりでした。この日はeスポーツの体験会も行われ、ボウリング・太鼓ゲームなどを体験できました。参加者は「体験会に参加して楽しかった。孫と一緒に遊べるのがeスポーツの良さ」と満足気に語っていました。

11月26日、イイフロの日に打ち上げ
筑後川が花火で染まる

11月26日、原鶴温泉で復興宿花火が行われました。これは5年間中止の花火大会の復活を目的に、原鶴温泉旅館協同組合などから構成された実行委員会を中心に開催されました。試験的な花火打ち上げでしたが、見物客の姿も見られ、大きな混乱もなく終了。実行委員は「イベントは無事成功。来年の花火大会復活に向け準備を進めたい」と話しました。

【フレンドリータウン】アビスパ福岡×朝倉市
今年もアビスパを応援しよう！



11月15日、アビスパ福岡の川崎常務と平塚悠知選手、菅沼一見選手が、今年1年の応援に対するお礼に市役所を訪れました。両選手は市と選手たちとの交流を深める応援アンバサダー選手でもあり、「朝倉の皆さんの応援が力になった」と話しました。

11月23日には、甘木体育センターで健康づくり地域交流フェスタが開催され、41人が参加。アビスパ福岡コーチの皆さんとレクリエーション活動を楽しみました。参加者からは「子どもと一緒に体を動かし、アビスパコーチとの貴重な体験ができて良かった」との声も。いい思い出作りができた1日となりました。



専門家による運動指導や体力測定
ステップ運動教室で楽しく健康に

12月5日、杷木のステップ運動教室で久留米大学による運動指導講座が開催されました。8月から全5回構成の講座が開かれ、この日が最終回。参加者は「先生や学生さんに指導いただき、若い人からエネルギーをもらった。みんなで楽しく盛り上がるのができた」「アンチエイジングの参考になった」と元気に生き生きと話していました。



▲米沢藩古式砲術保存会。三隊に分かれて絶え間なく発砲する実戦形式の演武。



▲秋月藩 林流抱え大筒保存会。4つの形を披露し、圧巻の5連射でフィナーレ。



秋月藩と米沢藩の時空を超えた競演
歴史を古式銃で紡ぐ

11月17日、秋月城跡（秋月中学校グラウンド）で「秋月藩・米沢藩 古式砲術交流会」が行われました。秋月藩成立400年記念事業の一環として、山形県米沢市の「米沢藩古式砲術保存会」を招き、「秋月藩砲術 林流抱え大筒保存会」との競演が実現しました。当日の砲術演武では、秋月・米沢の保存会がそれぞれ受け継いできた技を披露。静寂の中放たれる大筒と古式銃の轟音は見る人々を圧倒し、観衆からは大きな拍手が送られました。

また、この日は「秋月鎧揃え」も同時開催されました。正午過ぎ、秋月城跡から放たれた大筒の号砲を合図に鎧武者の行列が出発。目鏡橋からメイン会場の秋月城跡を目指し、歴史ある町並みを練り歩きました。メイン会場では、砲術演武のほか、「光月流太鼓」の披露や演者との記念撮影会なども開催。秋月の伝統文化を堪能し、米沢市とのつながりを感じることができた一日となりました。



300年以上続く奇祭「おしろい祭り」
真っ白笑顔で豊作祈願

12月2日、大山祇神社（杷木大山）でおしろい祭りが行われました。この祭りは、新米を水でといた「しとき」を顔に塗り、翌年の作柄を占う奇祭として有名。顔に多くおしろいがつくほど、豊作になるといわれています。

神社では「今年はえらいつきがよか」「まだ塗りたらんっちゃんないと」「来年は豊作！」などおしろいを塗った真っ白な笑顔と、大きな笑い声があふれました。祭りに見に来ていた人は「久しぶりに地元の祭りを見られて良かった。伝統あるおしろい祭りが今後も続いてほしい」と話していました。

おしろいは家に帰りつくまで落としてはいけないといわれ、皆真っ白な顔で家路へ。今年の豊作が期待されます。



▲宮座が始まり、祝詞が奏上されます。しときが作られ、宮司や氏子、参拝者にもおしろいが塗られると、普段は静かな神社が大いににぎわいます。

あさくらびと

地域で話題になっている人や団体、企業などを紹介するシリーズ。

第38弾は、秋月黒田家第15代当主の黒田長幹さん取材しました。

Interview

ながもと
秋月黒田家第15代当主 黒田長幹さん

東京都在住。平成27年に先代である黒田長幹さんが亡くなり、秋月黒田家の第15代当主に就任する。

コンサルタント業として日本や世界を駆け回る傍ら、朝倉市では秋月博物館の名誉館長のほか、秋月藩成立400年事業などでも精力的に活動する。東京や秋月で「黒田塾」も開催。黒田家に伝わる教え「水五訓」を軸に、黒田家や秋月の歴史を伝え、それらをどのように現代の人生や社会に生かすかを考える活動を行っている。(写真は秋月博物館の入口にて)

秋月黒田家第15代当主として

父であり先代である第14代長幹が亡くなったのが10年前。それから秋月黒田家の第15代当主を継承しました。先代は親しみやすさと「お殿様の威厳」を合わせ持ち、その振る舞いを見ていた私は「父みたいになれるだろうか」と不安も。しかし、400年前の長興公から始まった歴代藩主・当主たちそれぞれに個性があり、「私も私なりにやってみよう」と決意し当主に就任しました。

祖父である先々代、そして父から学んできたのは、地元である秋月への「郷土愛」でした。祖父は「秋月博物館の前身秋月郷土館へ、黒田家に伝わる甲冑や屏風などを寄附。地元の子どもたちに「本物を見て感受性を養ってほしい」との思いからです。父は郷土館の理事長として、東京と秋月を行き来する生活。台風が接近すると地元の人に被害状況を聞くなど常に地元を気にかけていました。

黒田家に伝わる「水五訓」

黒田家には福岡藩祖黒田官兵衛の教えである「水五訓」が、現代まで400年間伝わっています。私に特に印象深いのが、5つめの教えです。要約すると「水は雲や雨、雪などさまざまな変化をするが、

性質は変わらない」との教えです。

私たちが生きる現代は、大きな変化の連続です。その流れに乗らなければならぬ部分がある一方で、変えてはいけないもの、変わらない方がいいものもあります。私たちは「水」のように、変化に対応していく中でも、「自分」という芯を持ちながら現代社会を柔軟に生きていく必要があると、この教えから感じています。

これからの400年

秋月藩成立からの400年を当主として迎えられることは、奇跡だと感じています。400年の歴史の積み重ねに思いを馳せていると、400年後の未来を想像するように。現在の活動が、次の世代の人たちに、いかたちで残せるようにしたいと考えています。

そのような未来図を描いていると、浮かんでくるのは地元の子どもたちです。きちんといさつをする。地元の子どもにとっては当たり前のことかもしれませんが、東京ではあまり見かけませんが、私はそのピュアな感覚が新しいものを生み出すベースになると考えます。その感覚を持った秋月そして朝倉の子どもたちが、日本だけでなく世界で活躍できるように期待しています。

400年の今～令和6年の活動～

黒田塾は4月に東京の霞会館で開催し、武士道の考え方のほか、オンラインで秋月とつなぎ、秋月の名産品を紹介。7月には秋月コミュニティセンターでも開催し、地元の皆さんと交流を深めました。10月～11月は秋月鑑揃えや三名君フォーラム、甘木盆飯などにも参加しました。令和7年11月には全国藩校サミットが朝倉市で開催。今年も黒田長幹さんの活動にご注目ください!!



400年前から黒田家に伝わる「水五訓」

- 一、自ら活動して、他を動かすは、水なり
- 二、常に己の進路を求めて止まざるは、水なり
- 三、障害にあい、激しくその勢力を百倍し得るは、水なり
- 四、自ら潔うして、他の汚れを洗い清濁併せ容るるは、水なり
- 五、洋々として大洋を充たし、発しては蒸気となり、雲となり雨となり、雪と変じ霰と化し、凝しては玲瓏たる鏡となりたえるも、其性を失はざるは、水なり

400年の教えを
現代、そして未来へ

